

シンポジウム

# 社会防衛と自由の哲学をめぐって

主催：医療社会学研究会

共催：立命館大学大学院先端総合学術研究科  
立命館大学生存学研究所

## Program

### I. 研究発表

13:40 キョク コウリン  
|立命館先端研・院生|

「語られる黴毒」

14:10 オウ ユウシン  
|立命館先端研・院生|

「中国における献血事情」

### II. シンポジウム

15:00 美馬達哉  
|立命館大学・教授|  
「趣旨説明」

15:10 玉手慎太郎  
|学習院大学・教授|  
「公衆衛生の倫理」

15:40 西迫大祐\*  
|沖縄国際大学・准教授|  
「公衆衛生の哲学」

### 指定コメント

16:10 浜田明範\* (人類学)  
|東京大学・准教授|

16:25 児玉聡\* (倫理学)  
|京都大学・教授|

16:40 佐々木香織 (STS・社会学)  
|札幌医科大学・教授|

### 総合議論

17:00—18:00

\* ZOOM参加



©撮影・趙根在 (1970) 見送り 長島愛生園 国立ハンセン病資料館提供

## 企画趣旨

コロナ禍によって前景にせり出した公衆衛生と個人の自由との相克という問題は、古くて新しい哲学的問いである。古代から繰り返されてきた疫病を前にして、「社会を防衛しなくてはならない」という思想はいかにして生まれ、集団での予防と個人の自由のせめぎあいはいかにして論じられたのか。さらには、病原体、マスク、ワクチン、治療薬、患者、健康人、医療者、統計データが織りなす世界の多様性を、哲学はいかにして思考できるか。倫理的であると同時に、存在論的な問題設定のアーリーナがそこに開かれる。

この企画では、丸善から出版予定の『講座新哲学8巻 社会防衛と自由の哲学』（責任編集：美馬達哉、総編集：森下直貴先生）の著者（玉手先生、西迫先生、佐々木先生、浜田先生）に加えて、児玉先生にもご参加いただいて、公衆衛生について人文社会学的な議論を深めることを目的としている。

シンポジウムに先立って、関連した内容の研究を行っている立命館大学先端総合学術研究科の院生による発表も行う。

2023年 8月31日 |木|

13:40～18:00

立命館大学衣笠キャンパス

創思館4F 407・408

ハイブリッド方式開催・対面参加要申込

キャンパスマップ

<https://www.ritsumei.ac.jp/campusmap/kinugasa/>

対面参加申込フォーム（※切：8月30日21時）

| 閉会後情報交換会に参加希望の場合、申込フォームにご一報ください |

<https://forms.gle/Rx8V6PhRKP78DeUx8>

ZOOM参加のみ事前申込不要。下記のQRコードまたはIDとPWをクリックするとご参加いただけます：

ミーティングID: 992 0296 4703

パスコード: 000000

